



PLRで金持ちへの道を歩む

ニッチ市場で
プライベートラベルライトを
利用して、
お金持ちになる方法

村上剛史@アイフォテック

はじめに

本書に関する注意事項

発行者は本レポート作成にあたって正確かつ完全なものを目指しておりますが、急速に変化するインターネットの性質により、この内容の確実性を保証また明示することは、いかなる時もありません。

本文内では立証できる情報の提供に努めてますが、発行者は内容の誤り、省略、または誤った解釈へのいかなる責任も負いません。

特定の人や組織を軽んじる表現があったとしても、意図的ではありません。

この本文中に出てくる実用的なアドバイスは、他のものと同様、収入の保証をするものではありません。

読者の方々には、個々の状況からご自身の判断に基づいて行動されるようお願いいたします。

この本は法律やビジネス、会計、金融に関するアドバイス用に書かれたものではありません。

読者の方々にはそれぞれの分野の専門サービスを求められますようお願いいたします。

読みやすくするために、本書を印刷することをお勧めします。

著者からのご挨拶

インターネット上には1万円も2万円もする情報商材がところ狭しと販売されています。何を根拠にあの値段付けがされているのかが私にはよく分かりません。

通常、価格には直接経費と間接経費と売り上げの見込み数などを考慮に入れて、四分六の商売の原則に基づいて値付けされてしかるべきと思っています。そういった常識からかけ離れたところで売買されている現実に非常に違和感を覚えているのは私だけでしょうか。

そういった現実に一石を投じてみたくて、こういった形で資料を今後も発行していきたいと思っています。

プライベートラベルライトとは

インターネットの到来以来、ビジネスは順調に成長しています。

これはインターネットによって商品やビジネスに関する情報を瞬時に、一斉に広められるからです。

そのため多くの企業は、オンラインビジネスが増え続ければ収益の可能性も確実に増えることを察知しています。

しかし、オンラインビジネスで収益を得るためには独自の商品がなくてはならない、と多くの起業家は主張しています。

あらゆるものが売れる対象となり、ひとたびインターネットに拳がれば頭に浮かんだ考えまでもがその対象と見なされるためです。

ところが一般的な通念に反して、自身の商品を持っていても、オンラインで取得できる“情報商材”に付けられた“ライセンス”を使って収益をもっと増やすことができます。

これらはプライベートラベルライト（商品のコンテンツを編集できる権利）として知られています。

プライベートラベルライトとは、リセールライト（再販売権利）市場のコンセプトとして表現される三つの“基本権利”の中の一つです。

三つの中で、プライベートラベルライトは最もたくさんの収益を上げられると考えられています。

プライベートラベルライトは“情報アイテム”に添付される証明書あるいは認可の形で表されます。

プライベートラベルライトでは基本的に、アイテムの内容をバイヤー個人の希望に応じて変更や再編、改良をすることが許可されています。

例えばプライベートラベルライトがあれば、あるe-Bookからコンテンツを切り離し、別の書物としてそれを販売することも簡単です。

プライベートラベルライトが良いのは、その逆のこともできる点です。

例えば、コンテンツのコレクションのような情報商材をプライベートラベルライト付きで一セット購入できたとしたら、法のリスクを負うことなく、それを一つの作品にまとめることができます。

つまり、違う所有者の違うコンテンツ同士をまとめることができるのです。

平均的な思考力の持ち主でも、創造的な傑作を作り上げることができるというわけです。

さらに、プライベートラベルライトがあれば、情報を付け加えてもっと創造的なものにすることもできます。

結果として、それがあなた自身の商品だという印象を与えることができるのです。

何より素晴らしいのは、その作品に著者として自分の名前を置いてもいいという点です。

これはプライベートラベルライトの最も優れた点と言えます。

作品のオリジナルの著者を認知する必要がないのです。

プライベートラベルライトの価値にまだ十分お気づきでない方のために、メリットをいくつか並べてみましょう：

あなた、あるいはビジネス名をつけるだけで良い。

プライベートラベルライトがあれば、有益な商品を簡単に入手し、自分の商品として利用することができます。

あなた自身がその分野でのエキスパートであるという印象を与えることができます。

同様に、商品を購入してもらうために欠かせない信用を顧客から得ることができるのです。

あなたの創造力を引き出してくれる。

プライベートラベルライトの最も優れた点の一つに、様々な方法で創造力に富む人になれることが挙げられます。

異なる別々の要素を組み立てることで、全く苦勞することなく新しい、オリジナルに近い商品を作成することができるためです。

商品を展開させることができる。

プライベートラベルライトがあれば、もし商品があなたのテイストやニーズに合っていないくても、そこに修正や改良を加えることができます。

全く価値のない商品を探すという無駄な時間、あるいは新しい商品を一から作成する時間と労力を避け、収益を増やすことができるのです。

プライベートラベルライトは全く非論理的である、と主張する人もいるかもしれませんが。

しかし、特にその商品がもう売り時を過ぎてしまった場合などは、こういった販売方法はかえって売り手にとっても有益になります。

プライベートラベルライトは、すでに売れる見込みのない商品を、いかようにも変更して売れるようにするための方法を教えてくれます。

特徴を他の人に変更してもらうことで、その商品は進歩し続けることができるのです。

実際、プライベートラベルライトの原理は、自分の商品以外からも収益を望むインターネットマーケターだけにではなく、マーケット全体にも必要です。

ビジネス界にはギブアンドテイクの関係が内在しており、それは収益があることで生み出されるからです。

プライベートラベルライトで勝ち組になる

他人の作品を好きなように編集し、それを自分の作品だと言えるなんて信じられますか？

さらに、その商品を販売して利益を得ても、著作権侵害を問われることが全くないとしたら？

プライベートラベルライトのことをまだ知らなければ、自分是从かわれているのだと思うでしょう。

でも、全て本当のことなのです。

そもそも、プライベートラベルライトとは何でしょうか？

プライベートラベルライトがなぜそれほど特別なのか、その理由を知るためには、リセールとマスターリセールについても知っておく必要があります。

リセールライトとは、ある作品（例えば本など）の所有者から与えられる権利のことで、これがあれば自分の利益のためにその作品を用いたり配布したりすることができます。

マスターリセールライトとは、さらに一歩進んで、リセールライトを販売することができます。

“マスター”と呼ばれる理由は、権利を獲得した人に与えられる許容範囲が広いためです。

マスターリセールライトで利益を得る場合、もし次に挙げるような権利も付いていれば、その目的を達成することができるでしょう：

- ・ 資料（商材）を変更できない状態で提供する
- ・ その資料を他のものと組み合わせる
- ・ その資料をボーナスアイテムとして提供する
- ・ その資料をウェブサイトのコンテンツとして使用する
- ・ その商品をいくつかの記事に分割する

- ・ その資料の権利または資料そのものをオークションに出す
- ・ 有料のメンバーシップサイトのコンテンツとして提供する
- ・ その資料のリセールライトを販売する
- ・ 資料の内容を変更する

これらの権利をひとまとめで購入できたらすばらしいのですが、コストがかかります。

ところが、上記のことがすべてできて、しかもマスターリセールライトほどコストのかからない方法があります。

もし資料の内容を変更する権利さえあれば・・・、これがまさにプライベートラベルライトなのです。

これだけの権利が揃っていれば、他人の作品を変更することもできます。

お望みのどんな資料でも、それを変更することによって利益に結びつく作品を作り上げたことになるのです。

あるe-Bookのプライベートラベルライトを獲得することができたとします。

これで何ができるか考えてみましょう。

まずは、内容を章に分割し、それぞれをコンテンツとして販売することができます。

逆に、コンテンツのセットをプライベートラベルライト付きで購入できた場合、それを一つにまとめて本として販売することもできます。

詳細を付け加えたり取り除いたりすることで、資料全体の内容を変えることができます。

また、画像やイラストのほか、音楽やビデオクリップといったメディアを加えることもできます

。このようにたくさんの事ができますが、何と言っても優れた点は、資料を変更したことに対して、その原作者に伝えたりロイヤリティを払ったりする義務がないことです。

著者として自分の名前を入れて、自分の作品だと主張することができるのです。

こういった変更を加えて、作品を利用する方法はたくさんあります。

一つの資料から全く新しい商品セットに仕上げることができます。

E-BOOKを例にとります

コンテンツとして内容を分割してもよいし、自身の作品として各種メディアに紹介し、市場に出してもよいのです。

プライベートラベルライトがあれば、ブランドを確立するのにも一役買ってくれるでしょう。

ご承知のように、ビジネスで成功するには独自性が必要です。

プライベートラベルライトで資料を変更し、あなた独自のものにすることができます。

ターゲット顧客にそれを気に入ってもらえれば、あなたをその世界でのエキスパートだと認識してもらえます。

商品やサービスを販売して、波に乗せることができます。

利益を得られるのはプライベートラベルライトを獲得した人だけではありません。

初めは理解しにくいかもしれませんが、これはオリジナルの原作者のためにもなっているのです。

。プライベートラベルライト付きのオリジナル商品の需要が増えると、著者はその作品から利益を得られますが、報酬権利を付けることでより高い値段をつけることができます。俗に言うアフィ

リエイトです。

その上、買い手の望むように内容を変更できる権利を販売すれば、オリジナル作品に新しい命が吹き込まれることになります。

こうすることで、作品の寿命も延びるのです。

オリジナル原作者には十分な対価が支払われ、購入者には自由と柔軟性が与えられ、そしてエンドユーザーには役に立つ豊富な情報が与えられる。

プライベートラベルライトはオンラインマーケティング界にとって最高に素晴らしい方法の一つとなっているのです。

プライベートラベルライトでお金を稼ぐ方法

プライベートラベルライトとリセールライトの違いがよく分からない人もいるかもしれません。

リセールライトには再販する権利がありますが、フォームやデザイン、名前などを変更することはできません。

一方プライベートラベルライトは、オリジナルを変更したり詳細を加えたりした上で、自分のオリジナル商品だと主張することができるのです。

プライベートラベルライトを獲得できる商品の例としては、E-BOOKやソフトウェア、コンテンツなどがあります。

E-BOOKをもう一度、例として取り上げてみます

E-BOOKの著者が“携帯電話（スマートフォン）の技術”に関してプライベートラベルライトを与えるなら、内容をこの変わり続ける技術に見合ったコンテンツに変更することができるというわけです。

さらにそこにあなたなりの特徴をつけ加え、その技術について現在の傾向に最も見合うサブトピックを作成することも可能です。

変更した後のE-BOOKには、自分の作品としてその権利を主張することができます。

あなたのアイデアがコピーされたり買われたりすることもあります。変更されたものから生じる“新しい”商品を再販する権利もあなたは持っているのです。

新しいもの VS 変更されたもの

ベーシックなビジネス講習で教えられるのは、特定の市場に「売れる」オリジナルの商品を開発するという事です。

オリジナルのデザインと機能があれば、その偉大な発明を市場で披露する道が容易に開けるのは

すでにご存知でしょう。

とはいえ、自身の商品を開発して作り上げるには、かなりの労力が必要です。

いったん生産に踏み切られれば、その商品からの利益を様々な方法で得られるのはオリジナル商品のメリットと言えます。

まず一つ目に、自分の商品を全く変更しないで再販できる権利をビジネスオーナーに売ることができます。

また、商品に関するサイトを立ち上げたり、それに関連した他のサイトも通じて、宣伝をすることもできます。

商品が現在の技術的な規格に合っていない、顧客のニーズにできていないと分かった段階で、内容を変更します。

新しく変更を加えられた商品は、新商品として新たに再販する権利が与えられます。

自分の商品を一度でも開発できれば、可能性は無限に広がるのです。

今度は、プライベートラベルライトを獲得した結果、変更を加えられた商品のメリットとはどんなものかを見ていきましょう。

一つ目は、自分の商品を開発する時間がない場合に、ビジネスを非常に簡単に興せる点です。

プライベートラベルライトを獲得すれば、知的財産権の侵害を心配せずにオリジナルの商品内容を“合法的に”利用することができます。

これはE-BOOKやコンテンツ、ソースコードなどの電子商材のほとんどに適用されます。

二つ目は、既存の商品を変更する際に、自分の創造力を発揮することができる点です。

ありふれたテーマのアーティクルを10個集めて組み立てる場合、少し修正を加えて一つのベーシックなアイデアに基づいたものを作り上げます。

そうすることでオリジナルのものよりも幅広いものができあがり、これは個々に紹介していくよりもうまい方法と言えます。

また、オリジナルの資料とそのプライベートラベルライトを利用して、同じトピックのサイトを展開していくこともできます。

プライベートラベルライトでお金を稼ぐ可能性は計り知れません。

プライベートラベルライトを提供するアフィリエイトサイトなどを見ると、修正や変更はそんなに難しいものには見えません。

こういった状況から、多くのオンライン企業がチャンスをつかむ可能性がそこに潜んでいることが分かります。

ふさわしい材料を見つけることが大切です。

そうすれば、すぐに商品に仕上げることができます。

画像やテキストを変更、修正すればうまくいくでしょう。

素晴らしいのは、望んだようにリパック（再収納）して売り手に提供できる点です。

さらに、商品はすでにあなたのものでありますから、そこにあなたの名前を載せ、署名を入れることもできるのです。

プライベートラベルライトを利用して創造力や工夫を少し働かせれば、ターゲット市場に提供できる商品を作り上げることができ、結果として多額の利益を得ることができるのです。

プライベートラベルライトがあれば、オリジナル商品を作り出し、それを概念化する苦勞がない一方で、利益に関してはオリジナルと変わらない結果をもたらしてくれます。

メリットとデメリット

リセールライトは、アーティクルや本の所有者が、それを他人に販売し利益を保持する権限を売ることです。

一方、プライベートラベルライト (PLR)は購入者にコンテンツやテキスト材料を好きなように使うことを許可するものです。

PLRがあれば、自分で商品を作る苦勞もなくして自身の商品を所有することができます。

コンテンツの所有権があれば、好きなように改訂や編集ができます。

さらに、そこにリンクを張ってもイラストや画像を付け加えてもよいのです。

しかもあなた自身の署名を入れることができます。

プライベートラベル商品には、情報商材やグラフィックファイル、ソフトウェアなども含まれます。E-BOOKやレポート、アーティクルは中でも取り組みやすい材料です。

PLRのデメリット

PLRコンテンツの唯一の弱点は、購入したコンテンツに独自性がないことです。

販売数が限られているとはいえ、複数の人が購入するためです。

しかし、内容を変更することはできますから、独自性を出すように変更し、オリジナルなものとなるよう作風やトーンをアレンジすることができます。

全く同じ“プライベートラベルライト”を持っている人がたくさんいても、ライティングの才能があればオリジナルのアーティクルを作成でき、競争に巻き込まれることもなくなります。

コンテンツを変える、章をアレンジする、不要な段落を削除する、魅力的なタイトルにする、著者の名前をあなたの名前にする、これだけ行えば他の誰とも違ったものができるでしょう。

PLRのメリット

1. 時間が節約できます。

よくリサーチされた、内容の濃いアーティクル、しかも何章も何ページもあるものを書こうとしたら、少なくとも50時間くらいの時間と労力が必要でしょう。

PLRコンテンツがあれば、わずかな時間で満足のいくアクセスを得ることができます。

2. “アウトバウンドリンク”がありません。

PLRアーティクルでは、最後に“アウトバウンドリンク”を張る必要はありません。

これにより読者はあなたのコンテンツにだけ注目できます。自分のサイトやアフィリエイトへのリンクは張ることができます。

3. コスト効率が良いです。

ライターを雇うにはコストがかかります。

平均してアーティクル一枚につきおよそ17ドルかかると言われています。

50ページのアーティクルの場合、850ドルもかかってしまうのです。

一方、一般的なPLRアーティクルは200点でわずか29ドル～30ドルです。

4. 改訂や変更ができます。

章を加えたり削除したりすることも、言葉を変えたり必要なキーワードを加えることもできます。

これは、サーチエンジンの高ランキングに載せるためにとっても有効です。

5. 自分の名前をブランドにすることができます。

買い物は信頼ある人、よく知っている人から行いたいものです。

PLRコンテンツでは自分の名前という大切な情報を著者として表示することができます。

見込み客があなたのサイトに目を向ける時、そこにあなたの名前を見ることで、信頼できると直感的に感じてくれます。

6. それだけで完全なものです。

PLRコンテンツは一見しただけでも、ポイントと要素が完璧に押さえられたものとして提供されます。

7. エキスパートが書いています。

一般的に、“プライベートラベルコンテンツ”のほとんどは経験豊富なライターによって書かれ、それは最新の研究、調査、および情報に基づいて編集されています。

信頼できる人から“プライベートラベルコンテンツ”を購入して利用すれば、上質のものを手に入れたことが保証されます。

条件を必ずチェックし、コンテンツの内容を変更できることを確認します。

PLRコンテンツを最大限生かし、利用できる唯一の方法だからです。

プライベートラベルコンテンツやE-BOOKは、ウェブマスターの要求を満たしてくれるものです。

くまなく調べられた市場での具体的な問題や疑問に答えるように書かれているためです。

上手に市場で売り込めば、確実に売上げにつながるでしょう。

PLRコンテンツについて知っている人はあまり多くありません。

まして、注目すべき理由について知っている人はさらに少ないでしょう。

あなたは一歩先を行ってPLRについてできるだけたくさんの事を知り、これを最大限利用して利益を出していきましょう。

1. 時間と労力が節約できる。

コンテンツを一点書くにはどのくらいの時間と労力が必要か、おそらくご存知だと思います。

平均で、700単語からなる一つのコンテンツを書き上げるためには二時間かかります。

50ページ以上のサイトを作成しようとするなら、単純にコンテンツを書く仕事がどれほど大変かお分かりですね。

PLRコンテンツを利用すれば、この時間と労力が節約されます。

2. 全て自分に返ってくる。

PLRコンテンツに原作者の存在を示す必要はありません。

コンテンツをサイトで発行する際には、他の外部リンクや外部コンテンツは含まれていませんから、リンクの焦点をあなたとアフィリエイトだけに合わせることができます。

3. コストが節約できる。

これは、時間と労力の節約ではなく、単純に経済的な意味での節約です。

サイトのコンテンツ作成にライターを雇うと、一記事あたり平均でおよそ15ドルかかります。

あなたのサイトに20のコンテンツを定期的に（例えば二週間毎としましょう）アップデートするとした場合、その請求額がどのくらいに跳ね上がるかはご想像の通りです。

一方、PLRでひとまとまりのコンテンツを購入すれば、かなりセーブできます。

まとめて購入する場合、200ものコンテンツをわずか30ドルにも満たない金額で入手できるのです。

4. 自由に編集できる。

コンテンツの書かれ方や仕上がりが気に入りませんか？

PLRなら原作者の許可をもらう必要もなく、内容を変更することができます。

また、SERPs（Search Engine Results Pages、検索エンジン検索結果）で高ランキングに載せるためにキーワードを入れることもできるので、特にサーチエンジンでサイトを最適化する際には非常に役立ちます。

5. 自分のブランドを作ることができる。

他と区別されること、これが何と言っても大切です。

PLRアーティクルでは、内容に関連した最新の情報を盛り込むことができます。

そうすると、エキスパートとして一目置かれることができるのです。

人は信頼ある人についていくものですから、リピーターがつく可能性もぐっと上がります。

6. プロフェッショナルになることができる。

PLRにアーティクルを投稿するライターの多くは専門家です。

あなたが興味を持つ分野の最新情報を得る手段が彼らにはあります。

その彼らから権利を得ることで、定期的にお金を払い雇ったりしなくても自分をプロフェッショナルに仕立てることができるのです。

ひとまとまりのPLRコンテンツとある程度の創造力で、コンテンツの寿命をオリジナル以上に延ばすことが可能です。

したがって、PLRコンテンツの提供者には、その品質をよく把握するためにサンプル作品を見せてもらうようにしましょう。

PLRコンテンツを真剣に捉える理由はお分かりになりましたね。

1. 編集してリスティングやレポートを作る。

同じテーマの一連のコンテンツを一つにまとめ、レポートやリスティングを作成します。

誰にでもできると思われがちですが、実際にこれを行っている人が非常に少ないのが事実です。

数々のアートを読む十分な時間、読む意欲を持つ人は少ないのです。

彼らが望む情報を、簡易版で提供すればうってつけです。

レポートにして無料で提供したり、自分の商品として販売したり、サイトのコンテンツとして利用してもよいでしょう。

2. PLRコンテンツから短いアートをシリーズで作る。

これはメールキャンペーンの際に特に役立ちます。

シリーズは読者と続きを作成するための、非常に効果的な方法の一つです。

メールリングリストに登録してもらうには、あなたのオファー内容を十分に知ってもらう必要があります。

メールを送り、サイトにもっと定期的に来てもらえるようプロモーションしましょう。

3. 電子書籍 (e-Book) を製作する。

ひとまとまりのPLRコンテンツからE-BOOKを製作し、自分を著者とすることができます。

これは全く新しい商品ということになり、リパックしてリセールライト付きで販売することが可能です。

あなたと同じように、市場に応じるべくプロモーション用の材料を探している人がおり、その数はますます増え続けています。

お分かりのように、PLRア－ティクルは役立つコンテンツを提供するという面において有益なだけではありません。

コストの上でも労力の上でも能率的であり、つまり自分の時間をもっと大切なこと、ビジネスでもそれ以外のことでも、に集中させることができるという意味なのです。

プライベートラベルのe-Bookで稼ぐ

プライベートラベル商品の中で、最も有益なもの1つにe-Bookがあります。

従来、マーケッターはe-Bookの著者からリセールライトを購入し、その内容をそのまま再販売していました。

これは作者にメリットがありました。

作品に手を加えられることがなかったからです。

そのうえ、e-Bookの多くは、作者が関心を持っている商品にリンクしています。

結果としてe-Bookの売り手が作者のマーケティング・エージェントの役目も兼ねていたわけです。

本が売れるたび、そこに含まれるアフィリエイトのリンクが各顧客の目に行き渡っていたのです。

しかしながら最近、マーケターの間では新しいタイプのリセールライトがポピュラーになってきました。

本を再販する権利だけでなく、そこで望んだどんなこともできる権利を得るものです。

法に触れることなく、ニーズに合うように本のコンテンツを編集したり、変更したりできるようになりました。

リセラーにとっては、自分の顧客に合うようデザインされた材料から新しい独自の商品を作り出せるというわけです。

プライベートラベルライトの下で再販されているe-Bookは、たいていゴーストライターによって書かれています。

これらの作品は通常、文学賞を受賞したりベストセラーになる類のものではなく、特定の市場に合った基本的なテキストです。

だからと言ってこれらに価値がないという意味ではありません。

ニッチ市場のニーズを非常に満たしていると言えます。

リセラーがターゲット市場で上手に操ることができるのなら、莫大な利益につなげることができるでしょう。

入手したプライベートラベルe-Bookを最大に生かすために再販者ができることは何でしょう？

実際、できることはたくさんあります。

創造力を少し働かせれば、顧客が他で見つけられない本を販売することができるでしょう。

同じ商品を売っている他の再販者と競争する必要はありません。

ターゲット市場に合うように本のコンテンツを変えることができます。章の配列を変えたり、新しく加えたり、人目を引く新しいカバーを作ったり、タイトルを変更したり、画像やイラストを含むこともできます。

作者の名前さえ変えることができます。

そして、全体を吟味検討すれば、顧客がその価値を認める、完全に新しい独自のものができあがるのです。

もちろん、マーケターが材料に対して何でもやっていいというこのアイデアに関しては、反対意見もあります。

タイトルが違っても基本的なコンテンツは同じという本が市場にあふれる可能性はあります。

消費者の信頼が薄らぐかもしれません。

もう一つデメリットとして、こうして配られた材料は、よく知られた著者によって書かれた関連本に比べれば信用は薄いでしょう。

こういった類のことは避けるのが難しく、実行する際にはよく考える必要があります。

マーケターは、利益を生み出す方法を探る手段としてプライベートラベルE-BOOKを捉え、大きなビジネスを構築するきっかけだと見なすべきでしょう。

プライベートラベルソフトウェアで稼ぐ

プライベートラベルソフトウェア商品の場合、商品の核となるテクノロジーは別の人（あるいは会社）によって開発、所有されている場合があります。

一方リセラーは、そこに自分のブランドを置いたり、レイアウトやカラースキーム、ロゴ、言語などを利用し自分が作成したように見せることで、そのソフトウェアをオーダーメイドすることができます。

さらに、そのソフトウェアにふさわしいプログラム名や会社名、サイト名を付けることもできます。

ソフトウェアのメーカーは、ブランド商品を完全なりセールライト付きでリセラーに提供してくれます。

もちろん、販売方法やロイヤリティに関しては干渉しないという理解のもとであり、これはリセラーが独自で価格設定ができ、利益も自分のものにできることを意味しています。

また、商品はフルバージョンでもデモバージョンでも提供することができます。

デモバージョンがあることで、それがダウンロードされる度にアクセスを増やすことができるのです。

一般的に、リセラーが行えるプライベートラベリングとブランディングには二つの段階があります：

一つにはリセラーが管理、実行するテストや調査、二つ目に同じ事をクリエイターやホストが行える技術やアプリケーションです。

ソフトウェアの所有権を譲渡する段階でクリエイターからおそらく提供されるのは、トランザクションのドキュメンテーションと、購入したリセラーがそれぞれタイトルにするためのURLです。

このURLで、リセラーはその所有権を他人に証明することができます。

ソフトウェアは、プライベートラベル付きで提供できる多くの商品の中の一つであるだけです。

素晴らしいマーケティング能力があるリセラーは、プライベートラベルライト商品を工夫し、莫大な利益を導くことができます。

彼らがすべきは、自由に改良できる商品と、ふさわしい市場を見極めることです。

プライベートラベル商品で最大の利益を得る

このレポートも終わりに近づいてきました。

プライベートラベルライトで最大の利益を生み出す方法について、総合的なガイドラインをここに挙げてみましょう：

1. サイトに掲載されるコンテンツを作る。

コンテンツにあなたの署名や著作権表記を添付して発行します。

訪問者にそのコンテンツの再発行を許可するかわりに、彼らのサイトにもあなたの著作権表記を添付してもらいます。

これによりあなたのコンテンツがウェブ上に広まり、同時にサイトの人気度を高めることができます。

2. メールマガジンのアーティクルを作る。

コンテンツにあなたの署名あるいは著作権表記を添付し、それをメールマガジンで発行します。

コンテンツは再発行が可能な旨を伝え、その際にはあなたの著作権表記を添付してもらうようにします。

サイトの人気度を高めると同時にコンテンツが広まるという事実に加えて、ページランク (PR) も上がります。

3. PLRコンテンツをフリーボーナスで提供する。

知覚価値 (認知度) が上がり、見込み客にとってはあなたの商品を購入するきっかけとなるでしょう。

4. PLRコンテンツをオプトインリストのボーナスとして提供する

。

訪問者を引きつけ、メールリストへの申し込みを促します。

5. オリジナルの情報商材を作成する。

コンテンツを修正し書き直すことで、全く違ったものを作り上げます。

著者名はあなたの名前を入れます。

6. メールマガジンに投稿するための新しいコンテンツを作成する

。

あなたの著作権を表記できる内容のコンテンツを作成します

。

7. コンテンツを作成し、他のウェブサイトとトレードする。

あなたの署名あるいは著作権表記を付けて、アクセスの多いサイトを持つ人の中でトレードします。

8. PLRコンテンツから別のコンテンツを作成し、他の人の商品をプロモーションする。

あなたの署名あるいは著作権表記を付けて、“アフィリエイトプログラム”をプロモーションします。

9. あなたのアフィリエイト用のプロモーションコンテンツを作る。

あなたの署名あるいは著作権表記を付けたコンテンツに対して、アフィリエイトにリンクを貼ってもらいます。

10. 新しいオリジナルの情報商材を作成し、リセールライトで販売する。

PLRパッケージのほとんどは、ある一定のバイヤーだけに行き渡りますから、グーグルにあなたの商材が数え切れないほど載る、という心配はありません。

PLRアーティクルを書き直したり、変更したりできる権限があるということは、同じアーティクルを購入し、外見を変えた誰のものとも全く別のアーティクルであることを表しています。

コツ： PLRパッケージを購入する前には、契約条件をよく読みましょう。

コンテンツの書き直し、変更、削除をいかなる方法でもできる権限、そして新しいアーティクルに自分の名前を入れられる権限があることを確かめて下さい。

おわりに

最後までお読みくださいますありがとうございます。

今回のこの書籍は、一工夫すればいくらかでも新しいコンテンツを生み出せる余地があるということの説明させていただきました。

私のホームページには、まだまだコンテンツが不足気味なところがありますが、随時、記事の追加だけは怠ることなく継続しています。書き続けていないと、気づかないこともあります。どんなに優秀な人でもいきなりすごい発見は不可能です。量をこなすからこそ、新しい発見ができると思っています。

引き続き、シリーズものとして次々に発刊していきますので、ご愛顧のほどお願いします。

村上 剛史（むらかみ たかし）

ご意見、ご感想は ayc358@gmail.com までお願いします。

とりまとめサイトとして、<http://www.ai-photec.com/> を総合とりまとめのサイトにしています。

メールいただいた方は、「アフィリエイト通信」のメルマガを配信させていただきます。プレゼントなどを定期的に送らせていただいていますので、是非ご登録ください。

<http://www.ai-photec.jp/acmail/>

より登録可能です。

配信コンテンツは

- ◆写真、デザイン素材の活用方法とプレゼント
- ◆パソコンのノウハウ情報
- ◆ネット活用技術
- ◆無料で手に入るお得情報
- ◆稼ぐためのノウハウと情報
- ◆パソコン、トレンドNOW！
- ◆アイフォテックによる写真展の案内
- ◆ワンポイント情報として、健康コンテンツ配信
- ◆ブラウザの便利活用方法
- ◆電子書籍の制作から出版、そして広める方法

◆その他、今これを知らずして・・・etc

などです。

プライベートラベルライトの思考法でビジネスをする

<http://p.booklog.jp/book/78769>

著者：ムッチー

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/ayc358/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/78769>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/78769>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ